

うれしいメッセージをいたしました！

梅田所



↑いただいたお手紙

【担当からのコメント】

50代の○さんは、派遣社員として10年以上総合事務職を経験されていました。仕事は正社員に頼られるほど中核を担い、契約満了時の送別会には、日頃出席しない役員までが別れを惜しまれたとのこと。就活は「結果に一喜一憂せず淡々と進めること」を合い言葉に計4か月で41社に応募。途中、心理面のフォローも心がけ「初給料で何をするか」などポジティブ思考に繋がる質問をしながら「笑顔」で面談が終了できるよう努めました。途中「簿記2級」も取得されたのも評価され、正社員の事務職として税理士事務所に採用になりました。就活中にスキルアップされたことを含め、ご本人の努力の賜物だと思います。

令和4年3月

職業相談第1部門

35歳からのキャリアアップコーナー

拝啓 向春の候 ○様にはますますご活躍のことと拝察いたします

昨夏、氷河期プロジェクトで担当していただきました○○です。その折は大変お世話になりました。おかげ様で先月年明けから無事予定通り正社員となることができました。

ハローワークで面接の練習をしていただいている時に最初のお給料で何をしたいか問われ、お答えした通り、両親にもささやかですがプレゼントを贈ることができるお給料も先日いただきました。

私が通っていたあの時は以前もお話しした様にプライベートでも行き詰まっている時で、時間も生活力もなく、何度も正社員での就職は難しいのではないかと悩んだりもしましたが、○様に心細やかに支えていただき、諦めずに正社員にこだわって就活を続けてよかったです。面接の受け答えや文書の書き方等、どの様に勉強してよいかも分からず、一人ではとても無理だったと思いますし、就活を丁寧にフォローしていただいたおかげでその時間を資格の勉強に集中できましたこと、○様には心より感謝しております。

税理士事務所等での実務経験が全くない私にとって分からぬことばかりの毎日で大変でしたが、今後の自分の為に年明けからこっそり簿記検定の勉強を再開しています。小さな事務所ですし、この先もいろいろあると思いますが、より良い方向にいけるように頑張ります。

コロナもまだ収束せず、余寒厳しき折、○様も体調崩されませんよう、くれぐれもご自愛ください。

末筆ながら、書中にてご報告かたが御礼申し上げます。 かしこ